

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※     :警報レベル

    :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~43週
	第42週	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	1843 0.37	4 0.08	11 0.23	△	1 0.05	△		3 0.60	△		3 0.30	△	4 0.31	4 0.31		13953	
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	5989 1.9	154 5.13	126 4.20	▼	71 5.46	75 5.77	△	3 1.00	6 2.00	△	65 10.83	37 6.17	▼	15 1.88	8 1.00	▼	1173
咽頭結膜熱	694 0.22	3 0.10	4 0.13	△		3 0.23	△				3 0.50	1 0.17	▽				654
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	5418 1.72	112 3.73	133 4.43	▲	70 5.38	73 5.62	▲				33 5.50	39 6.50	▲	9 1.13	21 2.63	▲	5936
感染性胃腸炎	13742 4.36	93 3.10	87 2.90	▼	46 3.54	49 3.77	▲	8 2.67	3 1.00	▽	18 3.00	20 3.33	▲	21 2.63	15 1.88	▽	7107
水痘	922 0.29	13 0.43	7 0.23	▽	7 0.54	5 0.38	▽				6 1.00	2 0.33	▽				426
手足口病	3267 1.04	14 0.47	13 0.43	▼	7 0.54	5 0.38	▼				3 0.50	2 0.33	▽	4 0.50	6 0.75	▲	351
伝染性紅斑	410 0.13																1453
突発性発しん	1341 0.43	13 0.43	23 0.77	△	3 0.23	6 0.46	△	3 1.00	3 1.00		4 0.67	5 0.83	△	3 0.38	9 1.13	△	825
百日咳	74 0.02	1 0.03		▼	1 0.08		▼										19
ヘルパンギーナ	1276 0.4	32 1.07	15 0.50	▽	6 0.46	8 0.62	△	4 1.33		▽	12 2.00	2 0.33	▽	10 1.25	5 0.63	▽	2855
流行性耳下腺炎	4007 1.27	54 1.80	40 1.33	▽	21 1.62	13 1.00	▽	5 1.67	6 2.00	▲	26 4.33	21 3.50	▽	2 0.25		▽	2548
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	3 0																1
流行性角結膜炎	620 0.89	1 0.13	1 0.13		1 0.25	△								1 0.50		▽	61
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	8 0.02																19
クラミジア肺炎	1 0																4
マイコプラズマ肺炎	758 1.61	7 0.70	2 0.20	▽	3 0.75		▽	1 1.00		▽				3 1.00	2 0.67	▽	117
細菌性髄膜炎	9 0.02																6
無菌性髄膜炎	37 0.08																12

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	3			1	
	無症状病原体保有者	1			1	
腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者			1		型別:O26 VT1。
レジオネラ症	患者			2		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	患者	1				
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	患者				1	※第42週追加報告分。90日以内の海外渡航歴無し。

## <通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ									2			1		1	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									合計
	1		1	3		2									11
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	18	37	45	18	4	1	2		1						126
咽頭結膜熱			1	1		1					1				4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	4	4	7	17	13	11	16	11	12	32	1	3	133
感染性胃腸炎		7	11	11	6	7	10	10	3	7	4	10	1		87
水痘						3	1	1	2						7
手足口病		1	5	5		1		1							13
伝染性紅斑															
突発性発しん	1	8	14												23
百日咳															
ヘルパンギーナ		2	4	3	2	1	1	1	1						15
流行性耳下腺炎				2	5	6	14	6	3	1	1	2			40

<平成28年9月 月報>

2016年10月18日 更新

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～9月	
	8月	9月										
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	14	16	3	7	7	4	1	3	3	2	167
	定点当り	1.40	1.60	0.75	1.75	7.00	4.00	0.50	1.50	1.00	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	8	4	3	1	1	1	3	2	1		53
	定点当り	0.80	0.40	0.75	0.25	1.00	1.00	1.50	1.00	0.33		
尖圭コンジローマ	報告数	2	4	1	4					1		26
	定点当り	0.20	0.40	0.25	1.00					0.33		
淋菌感染症	報告数	2	4					2		2	2	18
	定点当り	0.20	0.40					1.00		0.67	0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	9	1	1		1				7	1	51
	定点当り	0.90	0.10	0.25		1.00				2.33	0.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	16	13	6	4	1	3	2	9	4		151
	定点当り	1.60	1.30	1.50	1.00	1.00	3.00	1.00	3.00	1.33		
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

<トピックス>

【RSウイルス感染症情報】

RSウイルス感染症の県全体の定点当たり報告数が、過去5年間に比べて高いレベルで推移しています。引き続き感染予防に努めましょう。

RSウイルス感染症とは

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、秋から冬にかけて流行します。2歳までには、ほぼすべての乳幼児が感染するとされています。

【症状】

潜伏期間は2～8日で、症状は軽い風邪様から重い肺炎まで様々です。初めて感染した場合は重くなるといわれており、特に乳児期早期(生後数週間～数ヶ月間)にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

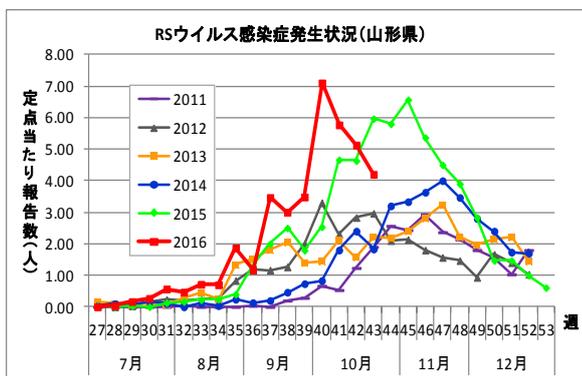
【予防法】

咳やくしゃみなどの飛沫感染、感染者との直接の濃厚接触、ウイルスが付着した手指や物を介した間接的な接触で感染します。

マスクの着用、子供たちが日常触れるおもちゃ、手すり等はアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒し、手洗いをこまめに行うことが大切です。

(参考URL : 厚生労働省 RSウイルス感染症Q&A

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html) )



【インフルエンザ情報】

1 定点医療機関情報(第43週)

迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数

村山地区:A型 1件

最上地区:A型 3件

置賜地区:A型 3件

庄内地区:A型 4件

2 インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 10月25日現在)

今シーズンの県内の患者から、AH1pdm2009型 2検体、A香港型 1検体が検出されています。

インフルエンザは、毎年、冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器感染症です。感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。

手洗いでインフルエンザを予防し、かかったら、マスク等咳エチケットを心がけましょう。

こまめな手洗いとマスク着用を心がけ、体調管理に努めましょう。「かかったかな」と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

